

## 6 株式会社 北國銀行

### 環境に配慮した店舗づくりやシステムの導入のご紹介

#### 【環境に配慮した店舗づくり】

改正省エネ法や建設リサイクル法の施行、ECO 資材の普及、CO2 削減志向が高まる中、店舗の新築やリニューアルにあわせて環境に配慮した店舗づくりを推進しています。

#### ① ガラスコーティング

犀川中央支店：

正面ロビーのガラス面に紫外線カット効果の高い特殊コーティングを実施しました。

#### ② 屋上緑化

森戸センター、みどり支店：

建物屋上に屋上緑化（グリーンビズ-G）を設置しました。

#### ③ 太陽光発電パネル

円光寺支店、みどり支店：

建物屋上に太陽光発電パネルを設置しました。

#### ④ LED 照明

志雄支店ほか5店舗：

営業室ロビー照明をLED照明にリニューアルしました。

#### ⑤ 電気自動車

本部分行員の移動手段として電気自動車2台を導入しました。このほかには、現在、ハイブリッド車16台、ガス燃料車1台を有しており、環境に配慮した車両は19台となりました。

① ガラスコーティング  
(犀川中央支店)



②屋上緑化  
(森戸センター)



②③屋上緑化、太陽光パネル  
(みどり支店)



③太陽光パネル  
(円光寺支店)



④LED照明  
(志雄支店)



⑤電気自動車  
(本部)



### 【機密文書リサイクルシステム】

店舗づくりとは異なりますが、平成 20 年より「機密文書リサイクルシステム」を導入しております。

- ・ 本部に大型シュレッダーを設置し、各営業店及び本部各部署より機密書類を集め、一括で処理を行います。こちらで記載内容の内容が判別できず、かつ、紙の繊維が破損しない幅でシュレッダー処理を行うことにより、古紙として再資源化することが可能になりました。
- ・ 当行ではこれまで、個人情報などを含む機密書類は、事務用シュレッダーで処理を行っておりました。しかし、事務用シュレッダーを使用すると、紙の繊維が破損し、再生紙としてリサイクルができませんでした。本システム導入により、以下の成果につながりました。
  - ① 年間で立ち木約 6,000 本の森林資源保護。（紙 1 トン作るには、直径 14cm・高さ 8m の立ち木 20 本が必要）
  - ② CO2 削減 1 年間で約 84 トンの CO2 削減。（立ち木 1 本の 1 年間の CO2 吸収量は、約 14kg）
  - ③ 環境面での効果に加え、各部署での個別処理から本部での一括処理に変更したことにより情報管理の面でより一層の厳格化が図れました。

※ 当行での使用済み OA 紙等の年間排出量は、約「300 トン」です。

